

8 クロス集計結果

(1) 児童生徒への質問の結果（児童生徒質問紙）と学力との関係

- 次のように回答している児童生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られる。これらは、全国傾向とほぼ同様であり、今後も、自校の児童生徒が学習に対してどのような意識を持っているか、学力等をよく分析した上で、指導法等の工夫・改善を図りたい。

授業における、主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導方法

- ・ 前年度までの授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいた。
- ・ 前年度までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた。
- ・ 前年度までの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていた。
- ・ 前年度までの授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。
- ・ 前年度までの道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいた。
- ・ 学級の友達との話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。

評価

- ・ 先生は、私のよいところをみとめてくれていると思う。

道徳、規範意識等

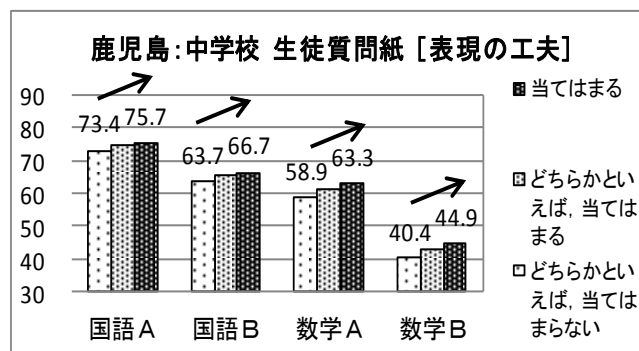
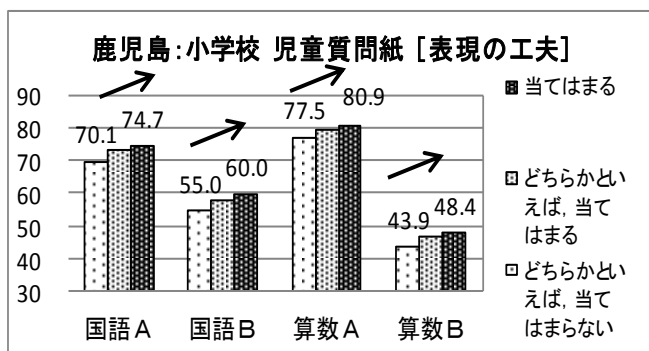
- ・ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- ・ 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。
- ・ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。
- ・ 学校のきまり（規則）を守っている。
- ・ 友達との約束を守っている。
- ・ 人の役に立つ人間になりたいと思う。

学校外での生活状況

- ・ 朝食を毎日食べている。
- ・ 普段（月～金）の1日当たりのテレビゲームをする時間が少ない。
- ・ 中学生は、普段の1日当たりの携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が少ない。
- ・ 学校の授業時間以外の普段（月～金）の1日あたりの勉強時間が長い。
- ・ 休みの日の1日当たりの勉強時間が多い。
- ・ 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校の出来事について話をしている。
- ・ 家では、自分で計画を立てて勉強している。
- ・ 家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している。

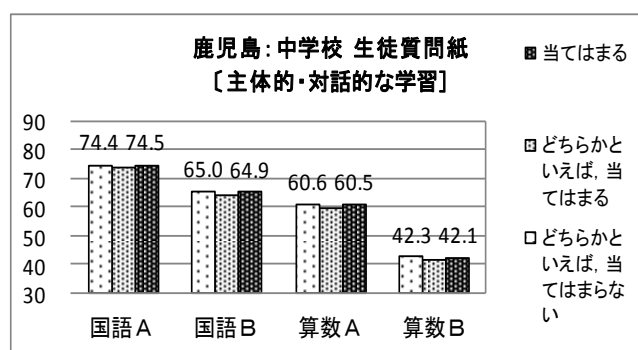
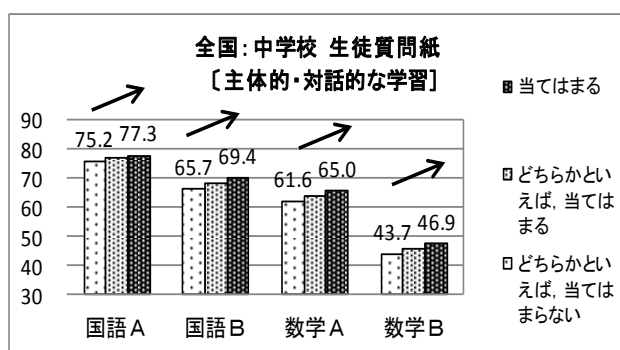
- 全国と同様，自ら思考したり，表現を工夫したりすることなどに関する項目については，積極的に取り組んでいる児童生徒ほど，平均正答率が高い傾向が顕著である。

前年度までに受けた授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか



- 全国では，積極的に取り組んでいる生徒ほど，平均正答率が高い傾向が見られたが，本県については，自ら課題を設定し，話し合い，発表するなどの活動に関して，その傾向が見られなかった。

前年度までに受けた授業では，学級やグループの中で自分たちが課題を立てて，その解決に向けて情報を集め，話し合いながら整理して，発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか



原因は本調査では特定できないが，課題設定，話し合い活動，発表などの取組において，その質を高めていくことが求められる。

特に，教員がしっかりとねらいをもった上で，生徒が主体的に課題を発見して，話し合い，まとめ，表現するなどの学習活動などの充実を図ることが重要であり，形式的にそのような活動を取り入れてしまっていないか再点検したい。

(2) 学校の取組（学校質問紙）と学力との関係（クロス集計結果）

学校における取組と学力の関係では、次のような指導等を行った学校ほど、教科の平均正答率が高い傾向が見られる。これらは、全国や昨年度までの傾向とほぼ同様であり、今後も、自校の学力等をよく分析した上で実態に即した指導法の工夫・改善が期待される。

指導方法

- ・ 授業の目標（めあて・ねらい）を示す活動や授業の最後に学習したことを振り返る活動の計画的な取組
- ・ 本やインターネットなどを使った資料の調べ方を身に付けさせる指導
- ・ I C Tを活用した児童生徒同士が教え合い学び合う学習や課題発見・解決型の学習指導
- ・ 発展的な学習の指導

言語活動

- ・ 言語活動に重点を置いた指導計画の作成
- ・ 全教科等を通じた学校全体としての言語活動充実の取組や、各教科等での指導のねらいを明確にした言語活動の位置付け
- ・ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりする発問や指導
- ・ 児童生徒自ら課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの活動
- ・ 自分の考えを相手に伝えたり、相手の考えを最後まで聞いたり、自分の考えを深めたり広げたりするなどの話し合い活動
- ・ 自らの考えがうまく伝わるように工夫した発言や発表

家庭学習

- ・ 調べたり文章を書いたりする宿題の提示
- ・ 家庭での学習方法等についての具体例を挙げた指導
- ・ 家庭学習の課題に対する評価・指導
- ・ 課題の与え方に関する校内での共通理解や保護者への働きかけ

そ の 他

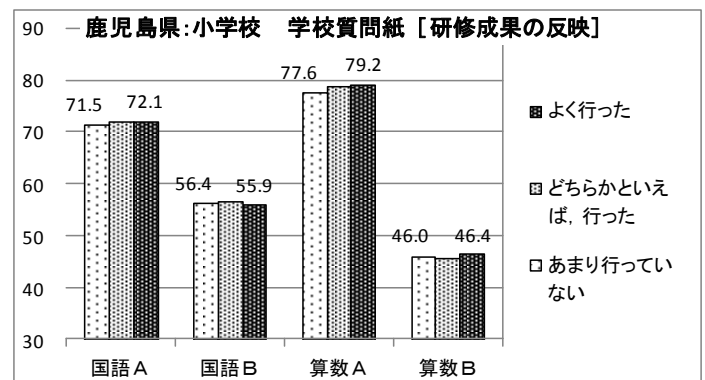
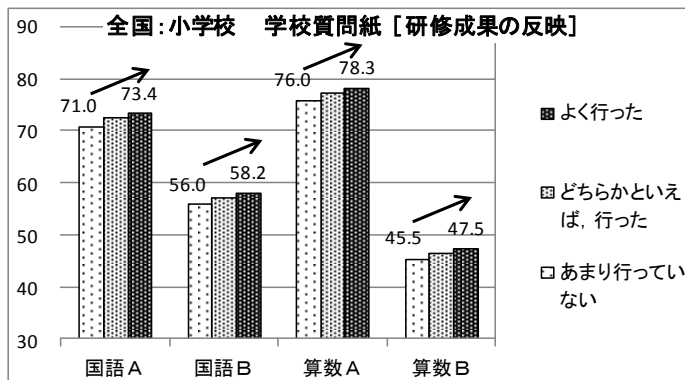
- ・ 学校全体の学力傾向や課題の全教職員での共有

○ 今年度新たに設けられた項目の中で、一定の傾向が見られた項目は以下のような状況である。特に、校内研修等に関しては、よく取り組んだ学校においても成果に結びついていない場合がみられる。研修成果の実践への活かし方を再検討して取組の充実を図りたい。

- 全国と同様、積極的に取り組んでいる学校ほど平均正答率が高いもの
- ・ 課題を理解した学習への取組や資料・文章・話の組立などを工夫した発言や発表
 - ・ ペーパーテストに留まらない多様な評価，形成的な評価，資質・能力の伸長を児童生徒自身が把握できるような評価
- 全国では積極的に取り組んでいる学校ほど平均正答率が高いが，本県では取組が成果に結びついていないとは言えないもの
- ・ 専門性を高める教科等を決め，校外の授業研究の場に定期的・継続的に参加
 - ・ 児童生徒自ら課題を設定し，話し合い，まとめ表現する等の学習活動を学ぶ校内研修
 - ・ I C Tを活用して協働学習や課題発見・解決型の学習指導を学ぶ校内研修

教職員は，校内外の研修や研究会に参加し，その成果を教育活動に積極的に反映させていますか

・ 小学校



・ 中学校

